

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第52週(2022/12/26~2023/1/1)時点、感染症発生動向調査速報値】

図1. 5シーズンの患者報告数の推移(富山県)

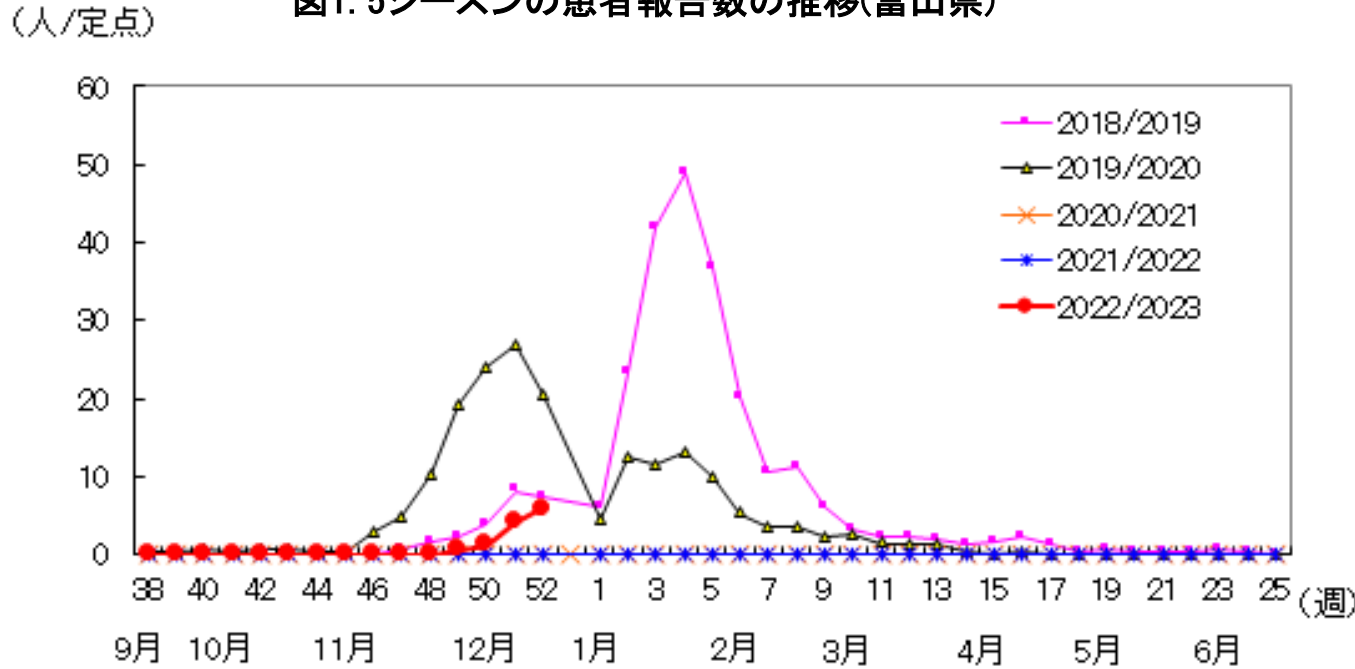
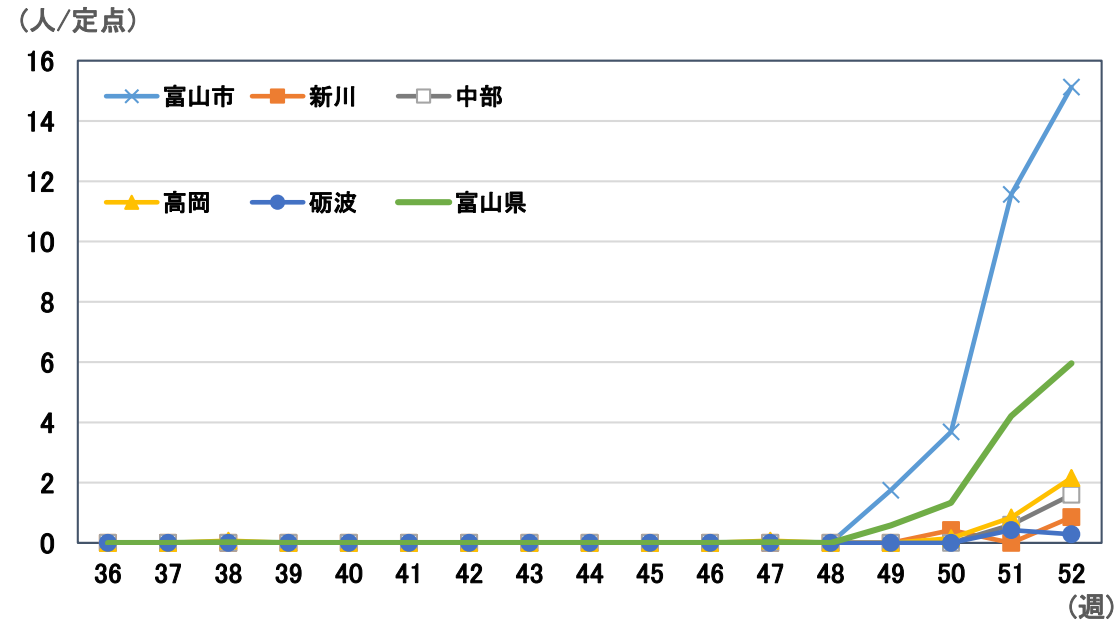


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2022/2023)



- 新型コロナウイルス流行後の2020/2021、2021/2022シーズンは流行が認められなかった(図1)。
- 2022/2023は、富山県では第50週(12/12~12/18)に流行シーズン開始の目安である1人/定点を超えている。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、富山市管内で急増しており、第52週時点で15.13人/定点と注意報レベル(10人/定点)を超えている。中部(1.60)、高岡(2.15)管内が第52週に1人/定点を超えている。

図3. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第51週)

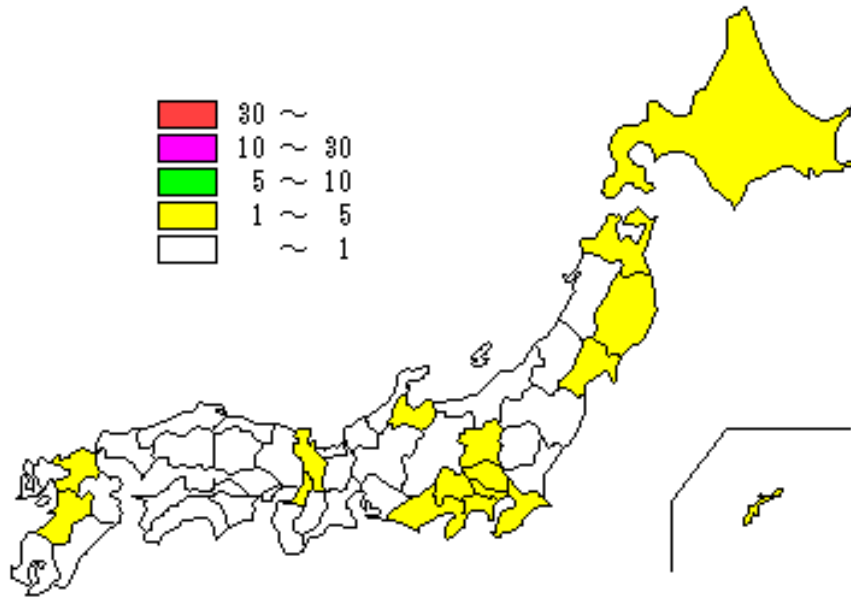
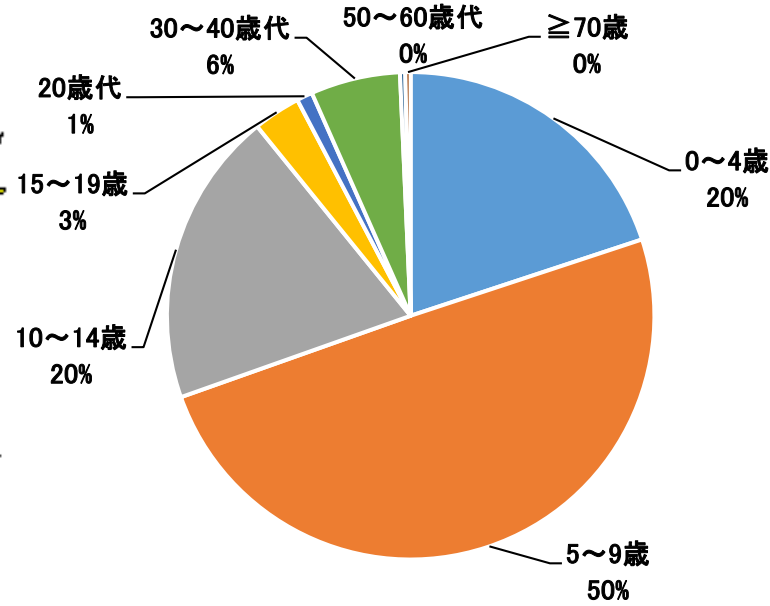
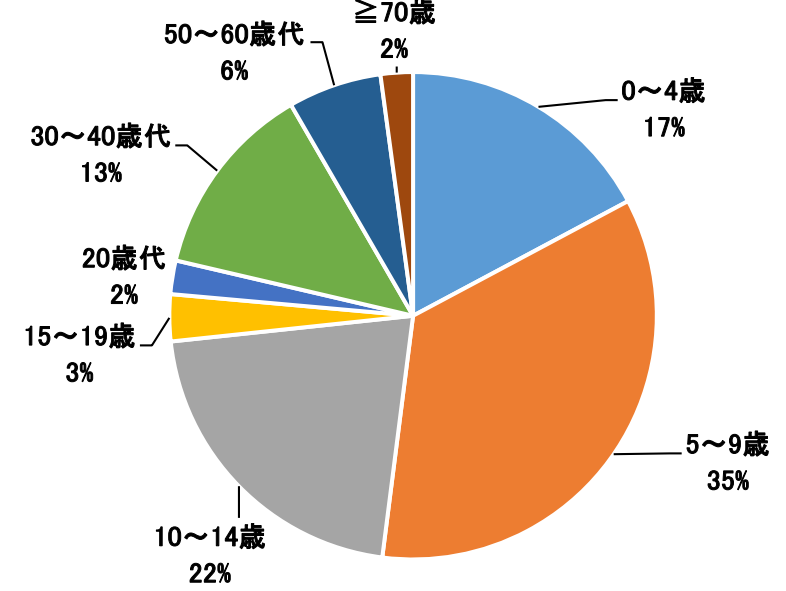


図4. 年代別割合(富山県、52週)



参考
年代別割合(富山県、2019/2020シーズン)



- 全国では第51週に1.24人/定点となり、流行シーズン入りしている。なお、都道府県別(図3)では1人/定点を超えているのは17都道府県であり、その中で富山県(4.21人/定点)が最も定点当たり報告数が多かった。
- 富山県の52週の年代別割合(図4)では、15歳未満の小児が90%を占めている。20歳以上の成人は7%と少ない。2019/2020シーズン(参考)と比較すると、5~9歳の割合が35%から50%と増加している。今後は、富山市以外への感染地域の拡大、成人層の報告数が増加する可能性が考えられる。

※COVID-19流行に伴う受診控えなどの影響により、インフルエンザの流行状況を過小評価している可能性が考えられ、データの解釈に注意が必要。